

福島県令和7年度当初予算

ふくしま復興・創生推進予算

予算額 1兆2,818億円
(うち復興・創生分 2,657億円)



ふくしま復興・創生推進予算

福島県 令和7年度当初予算
予算額 1兆2,818億円
(うち復興・創生分 2,657億円)

「復興・再生」と「地方創生」を両輪で進める
「福島ならではの」の県づくり＝「ふくしま復興・創生」を更に推進

東日本大震災・原子力災害 からの復興・再生

第2期復興・創生期間の最終年度

- ◆ 事業再開や営農再開、移住者の定着支援、福島国際研究教育機構（F-REI）との連携強化、双葉地域における中核的病院整備の推進など、引き続き、生活再建や生業の再生を最優先に取り組む。

⇒ 復興の加速

人口減少対策（＝地方創生）

次期総合戦略の初年度

自然減 対策

- ◆ 「はぴ福なび」の機能向上、不妊治療に係る通院費用支援、放課後児童クラブの人材確保支援など結婚・出産・子育て支援の充実、学力向上や「とも家事」の推進

社会減 対策

- ◆ 誰もが働きやすい職場づくり支援、県内企業の魅力発信、健康経営の普及など若者の定着・還流促進、関係人口創出など移住・定住の促進

⇒ 「人口減少対策関連主要事業」の推進

横断的な課題への対応（自然災害への対応、地球温暖化対策、デジタル変革）

- ◆ 自然災害に備えた防災力の強化、防災教育の充実や企業と連携した防災啓発など地域防災力の向上
- ◆ カーボンニュートラル実現に向けた情報発信の強化や企業支援による実践拡大、ごみ減量の促進、水素ステーション運営支援や次世代太陽電池の普及拡大など
- ◆ 次期「ふくしま健民アプリ」の開発、キャッシュレス導入支援、スマート農業導入支援などデジタル変革の推進

連携・共創による「福島ならではの」の県づくりを推進

次期ふくしま創生総合戦略に基づく人口減少対策関連主要事業の主なポイント

人口減少対策
関連予算
639億円

次期「ふくしま創生総合戦略」の下、自然減・社会減対策を両輪としてオール福島で人口減少対策に総合的かつ戦略的に取り組むことにより、**従来型の性別による役割分担意識にとらわれず、若者や女性をはじめ誰もが地域や社会で活躍できる「令和モデル」の県づくり**、特に、若者の出会い・結婚等の支援、若者や女性が働きやすい魅力ある職場環境づくりへの支援を進める。

自然減対策

出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実

若者の出会い・結婚等の支援

結婚・子育て応援事業（こども未来局） 423百万円

未来へつながる性と健康の支援事業（こども未来局） 36百万円

（新規）不妊治療支援総合対策事業（こども未来局） 293百万円

（一部新）えがお輝くふくしまの保育支援事業（こども未来局） 38百万円

（新規）放課後児童クラブ人材確保支援事業（こども未来局） 14百万円

教育の充実

（新規）ふくしま学力向上総合支援事業（教育庁） 34百万円

ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業（教育庁） 43百万円

女性が活躍できる環境づくり

（新規）ともに輝くふくしまライフスタイル推進事業（生活環境部） 66百万円

社会減対策

魅力ある職場づくり、若者の定着・還流促進

若者や女性が働きやすい職場づくり支援
（新規）『感動！ふくしま』魅力ある職場づくり促進事業（商工労働部） 150百万円

『感動！ふくしま』プロジェクト（商工労働部） 480百万円

（新規）女性活躍・働く世代の健康づくり推進事業（保健福祉部） 76百万円

（一部新）健康経営トータルサポート事業（保健福祉部） 47百万円

（一部新）介護のしごと魅力発信事業（保健福祉部） 62百万円

産業振興

（新規）ふくしま型農業DX推進事業（農林水産部） 220百万円

（新規）女性活躍オフィス立地促進事業（商工労働部） 30百万円

移住・定住の促進

（新規）人の魅力が人を呼び込む関係人口連鎖事業（企画調整部） 26百万円

ふくしま若者Uターン促進プロジェクト（企画調整部） 35百万円